

## 学校教育目標

○自分で考える子

◎明るく思いやりのある子

○元気でがんばる子

「明るく思いやりのある子」を重点目標として、学校の教育活動全体をとおして、自分や友達を大切にすることを豊かにし、生きる力を育成します。

## 令和8年度の重点

### デジタルを活用した「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の推進



家庭にタブレットを持ち帰ることが多くあります。ご家庭でのWi-Fi環境の準備をお願いします。

教師が「教える」授業から、子供が「学ぶ」授業への変換をすすめていきます。授業の主体者は、教師ではなく子供です。子供が自ら「何を」「どのようにして」「誰と」学ぶのかを考え、教師はその学びを支援していきます。

そのためには、デジタルの活用は欠かせません。一人1台のタブレットとネットワークを活用して「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を図り、「令和の日本型学校教育」の実現を目指し、将来「なりたい自分になる」力を身に付けます。



### 少人数指導による学力向上



単純にわり算をすると、教員1人につき児童10人弱の小規模校。そのメリットを最大限に生かし、学力向上を図ります。

どの児童にも、教科書例題程度の基礎的な知識や基本的な技能の定着を目指します。

算数の少人数指導（2～6年）、体育科合同授業、専門性の高い教員による交換授業、3年生ベーシックタイム（年26回）などの充実を図ります。



### 副担任等を活用した児童への支援



何かあれば、担任や副担任だけではなく、どの教員でも構いません。ご相談ください。

様々な子供たちに対応するためには、担任一人だけでは手が足りません。副担任を1年・低・中・高学年に配置し、チームで対応することで、よりきめ細かい支援ができます。

それを支えるスクール・サポート・スタッフや時間講師、支援員なども配置し、教員が子供と向き合える時間の確保に努めます。



### インクルーシブ教育システムの推進



「できることは一緒に活動する」をモットーに、障害のあるなし、特別な支援が必要があるなしに関わらず、どのお子さんとも一緒に活動できる方法を、どのように教職員が関われば実現できるのか考えていきます。

縦割り班での清掃活動や三原学級との交流・共同学習、在籍学年以外でも交流給食を行い、意図的に「一緒に活動する」場面を作ります。



### 凡事徹底



何でもないような当たり前のことを徹底的に行います。例えば、トイレのスリッパや下駄箱の靴の整理整頓、上履きをきちんと履くことや手洗い、挨拶など、できて当たり前のことを徹底的に指導します。

小学生の頃に身に付けた良い習慣は、大人になって必ず役に立ちます。社会で活躍する人材の基盤になるものです。



### つばき小の主な行事

- |    |  |     |   |
|----|--|-----|---|
| 4月 | 着任式・始業式<br>第22回入学式<br>全国学力学習状況調査（6年）<br>全体保護者会・学級懇談会<br>全校遠足 | 10月 | 町レクリエーション大会<br>追悼式（5,6年生参列）<br>秋の遠足（上学年・下学年）    |
| 5月 | 移動教室（6年）・個人面談（全員）<br>自然体験教室（5年）<br>町学力テスト（2～6年）              | 11月 | 学芸会<br>道徳授業地区公開講座                               |
| 6月 | 水泳指導始め<br>学校公開・引き渡し訓練  | 12月 | 連合音楽会（5,6年生）<br>町学力テスト（1～6年）<br>個人面談（全員）<br>終業式 |
| 7月 | 終業式・夏季水泳<br>個人面談（全員）<br>町水泳大会                                | 1月  | 学校公開・書き初め展<br>連合作品展<br>マラソン大会                   |
| 8月 | オンラインホームルーム  | 2月  | 新入学児童保護者会                                       |
| 9月 | 始業式<br>運動会   | 3月  | 6年生を送る会<br>第22回卒業式<br>修了式・離任式                   |